

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○				○	○	○		○		○	○	○	○

## 企業の概要

企業・団体名	あすか製薬株式会社	本社所在地	東京都
業種	製造業	総従業員数	858名
事業概要	医薬品、医薬部外品、食品および医療機器等の製造・販売ならびに輸出入		

## テレワーク実施概要

雇用上の規定	就業規則
テレワーク担当部署	人事部
テレワーク対象者	工場現業職を除く全職種
実施者数	672名
平均実施日数	月8回以上12回未満程度(概ね週2~3回)

## テレワークの導入・拡大の経緯

- 2018年4月より就業の機会を広げる目的で、治療と仕事の両立および育児介護により就業が困難な従業員を対象に5日/月を上限に在宅勤務制度を導入。
- 2020年2月に新型コロナウイルス感染症蔓延防止措置として在宅勤務の範囲変更と上限の撤廃をし、工場現業職を除く全従業員を対象にするよう運用を変更。
- 2021年4月、感染症蔓延防止措置に限らず、常時在宅勤務が可能となるよう月当たりの回数制限を撤廃し多様化する就業スタイルを実現するために在宅勤務規程の改訂を行った。

## テレワークの概要・特徴

- 工場現業職を除く全従業員が回数の制限なく在宅勤務を可能とし、在宅勤務を行う場合は勤怠システム上で届出を提出することで管理を行っている。
- 2019年4月、工場従業員を除く全社員を対象としてフレックスタイム制度(コアあり)を導入し、2020年4月全フレックス対象者をコアなしのフルフレックス制度へ変更し、より柔軟な働き方を実現できる環境を構築。
- 在宅勤務をした場合、社員食堂での食事利用ができないため、1日200円の食事補助を、携帯電話の貸与が無い従業員に対し1日150円を支給。
- 在宅勤務時の実用性とパフォーマンス向上を目的として、貸与PCについて2020年7月からモバイルタイプへ置き換え実施。
- 在宅勤務に必要な環境として、社内イントラ・Zoom・LINEWORKSなど整備拡充し、遠隔業務の実現と社内コミュニケーションの円滑化も図っている。
- 2021年4月、フレックス制度および在宅勤務制度による時間の有効活用が見込まれることから、社内のeラーニングシステムに5000講座が学び放題となるオンライン学習プラットフォームUdemyを導入し、場所や時間に影響を受けない学習環境整備による、自発的な学習と自律的な働き方を促進。

## テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

- これまでの出社勤務をメインとする働き方から就業モデルが大きく変化し、通勤時間の削減や、満員電車による疲労が無くなるなど、従業員の身体的負担の軽減がされている。
- 社内の8割以上が在宅勤務制度を活用しているほか、2020年度の時間外労働時間が業界平均を下回っており、ICT活用による効率の良い働き方を実現している。
- 回数制限のない在宅勤務制度と就業時間を自由に選択できるフルフレックス制度(コアなし)の併用により、就業場所・時間の選択肢が広がり、ライフワークバランスの面で従業員満足度の向上に繋がっている。
- 風水害や地震などによる交通機関の乱れによる出社困難などが発生した場合であっても、在宅勤務での業務遂行が可能になることで、従業員の安全確保とBCP対策の両立により影響を最小限に抑えることが出来ると想定される。